

全日本柔道形競技大会の結果について

平成18年10月22日(日)講道館大道場において全国10地区からの代表者によって柔道形競技大会が実施されました。

今年は、「投の形」「固の形」「講道館護身術」「五の形」の4種目で競われました。

東京都柔道連盟代表者の結果

「投の形」	第三位	取：長谷部 真 (警視庁)
		受：清水 紀宏 (警視庁)
「固の形」	優勝	取：芳岡 武 (警視庁)
		受：三原 貴史 (警視庁)
「護身術」	準優勝	取：武田 武 (警視庁)
		受：宮崎 純一 (警視庁)
「五の形」	準優勝	取：茂木 明 (警視庁)
		受：黒木 義則 (警視庁)

地区総合表彰(10地区ごとの総合得点)

準優勝 東京都柔道連盟

「形」は、柔道において基本となる攻防の理合を理解、体得し、それを学ぶことにより柔道の本来の目的である心身を磨き、己を完成していくとことが出来るのである。

最近、世界においても「形」が重要視され各国でも盛んに取り入れられてきており特にヨーロッパでは国際大会も開かれています。

これからも「形」に積極的に取り組み、来年度は全種目制覇、総合優勝を目標に頑張っていきたいと思えます。

担当：研究委員会委員長 宇津木俊博

